# 子ども向け・白檀（びゃくだん）講座

🌿 白檀（びゃくだん）ってなに？

白檀（びゃくだん）は、インドや東南アジアに生えている木です。
木の中でも、香（かお）りがとてもよいことで有名です。
この木からとれる「香木（こうぼく）」は、昔からお香（こう）やお薬に使われてきました。

🌱 どうやって育つの？

白檀の木は、ちょっとふしぎな育ち方をします。
自分の力だけでは育ちにくいので、まわりの植物の根（ね）っこから水や栄養（えいよう）をもらって育ちます。
これを「ほかの植物の助けをかりて育つ植物」って言うんだよ。

🌸 香りのひみつ

白檀の木の中（とくに木の中心のところ）は、とてもいい香りがします。
この香りは、長い時間たっても消えにくくて、リラックスできるやさしい香り。
だから、お寺のお香や、おそうしきのときのお線香（せんこう）にもよく使われています。

🛕 むかしの人と白檀

日本では、むかしから大切なおまつりや、お祈（いの）りのときに白檀のお香が使われてきました。
なんと、聖徳太子（しょうとくたいし）の時代にも、お香として使われていたんだって！

👃 ちょっとかいでみよう

白檀の香りをかいでみると、すこし甘くて、木のぬくもりを感じるような香りがするよ。
心が落ちついて、ほっとするんだ。
お香の香りって、目に見えないけど、気持ちをやさしくしてくれるんだね。

📚 もっと知りたい人へ

白檀についてもっと知りたくなったら、ぜひ図書館（としょかん）で「香木」や「お香」の本をさがしてみてね。

（このまとめは、山科植物資料館、木村植物園が提供する資料をもとに作成しました）